

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2015年 4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2015年 4月1日発行 通巻264(毎月1回発行)

**創立50周年記念登山は**

**バリ島です！近日、募集開始**

## 4月号目次

・ 目次	2
・ 3月理事会報告	吉田 理事長 3
・ 県連50周年事業第5回実行委員会報告	・ 広木 実行委員長 4
・ 船橋勤労者山の会紹介	・ 中里 船山会長 5
・ 初級登山教室案内	6
・ 第1回ハイキング委員会報告	7
・ リレー・エッセー	・ 高橋 芳恵 8
・ リレー・エッセー	・ 佐藤 かほる 9
・ 足尾植樹祭案内	11
・ ゆう便りNO—11	・ 長池 康雄 12
・ 石巻支援に想う	・ 神田 武治 13
・ 早春の石巻報告	・ 野口 義夫 14
・ 県連便り	15
・ 4月・5月予定表	16

### 表紙紹介

通称・船山の正式名称は「船橋勤労者山の会」です。  
1977年4月に創立されて依頼、常に千葉県連盟の中心として、活動していただきました。  
山行には、厳しさとやさしさのある会だと感じて来ました。  
表紙は、2015年1月26日 新春ハイク・房総烏場山です。

## 2015年3月度理事会報告

理事長 吉田 哲治

■開催日時:3月19日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山、茂原、松戸、ふわく、あびこ、こまくさ、シリウス、らんたん、民医連、岳樺、自然保護、教遭、救助隊、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、以上17名

■配布資料

・15年事故報告

・2015「初級登山講習」の案内(案)

・労山千葉県連 50 周年記念講演(案)

・県連 50 周年第 5 回実行委員会資料

■議題

1. 委員会・救助隊報告

\*教育遭難対策委員会(岡田)

1)事故報告・筑波山における捻挫の事故(かがりび)

2)15年雪上技術講習(4/4)

・9会57名参加予定。受講生は37名で4班に分けて行う

3)初級登山教室(6/6～7)

・昨年初めて実施した。初心・初級者が対象なので内容を明確にして行う

\*ハイキング委員会(中原)

・ロングハイクの反省点として前夜の飲み過ぎがあった

・ウィークデー山行は 7/23(木)予定。故吉尾氏の紹介をちばニュースに掲載する

\*自然保護委員会(菅井)

・クリーンハイク 5/31(日)実施予定、鬼泪山周辺

・足尾植樹祭 4/25～26、参加希望者は菅井まで

\*救助隊(吉田重)

・関東ブロックの深雪訓練を 2/21,22 で谷川にて実施。主管は神奈川。千葉よりは7名参加したが全体では 33 名と少な目だった

・4/4 の雪技に向けて講師の事前講習を 3/21 と 28 の二日にわたり行う

・定期訓練、4/25,26、丹沢懸垂岩

2. 代表者・理事合同会議の感想および反省点

・特別基金の学習会は質問も多く、問題点が明確になり開催して良かった

3. 50周年関連(広木)

・海外登山は下見を予定

・自然保護セミナーは 3/11 に中原、菅井、広木で鶴沢氏と打合せを実施、記念公演の原案を出した

・全体的に取組みが遅れているので個別のミーティングを行いたい

4. 災害支援報告(吉田哲)

・今年初の活動を 3/14,15 で牡鹿にて実施、14名の参加。他に埼玉県連より 33名の参加があった

・総会を 4/21 開催予定、15年度も活動を継続していく

5. 全国連盟の重大事故を考える

・すでに4名の死亡事故発生

・事故当事者の基金口数が少ない

6. その他

・岳人あびこの新理事、坂巻明氏

■今後の理事会日程について

・4月16日(木) 場所:西部公民館

時間:19時より

# 千葉県連盟創立50周年記念事業第5回実行委員会 報告

実行委員長 広木 国昭

第5回実行委員会の、確認事項のお知らせ。

## ◆ 記念事業の行程・進捗の確認

### 1、記念山行について（安彦 副実行委員長）

#### (1) 海外ハイキングについて（バリ島サンライズ・トレッキング）

##### ① 下見について

- ・ 実施月日： 5月13日～19日（6泊7日）

##### ② 下見以降、本番までの日程について

#### ・ 第6回実行委員会 5月28日（木）19時

- ・ 下見報告を受けて、本番の詳細を決定し、募集を開始する。

本番：2015年10月中旬4泊5日を予定 費用：20万以下にしたい。

参加人数：約30人目標 6月：会・クラブに提案募集開始 7月末：〆切り

#### (2) 千葉の山トップ50について

- ・ 早急に、対象の山を決定する。

高さ優先 ・高さ優先+馴染みの山 ・登りやすい山 ・近くの山の縦走。

- ・ 全会・クラブの参加で実施、登山形態の確認。

対象の山選択と登山形態は、各会・クラブで選択する。

- ・ 日程：2015年9月～2016年8月を基本とする。

登山開始は各会で決定、終了時期は統一する。

- ・ 対象の山が決定したら、早急に情報収集する。（アクセス・地図・コース）

- ・ 会・クラブ・個人に、対象の山の、情報・資料の提供をお願いする。

登山口・コース等の相談窓口を設置する。（ふわくHC・君津ケルン山の会・茂原道標山の会にお願いしたい）

- ☆ 登山報告書の形態を統一し、ガイドブック的にまとめ編集して記念誌に掲載する。

計画書の形態を早急に決定し、登山開始前に各会に配布する。

### 2、千葉県連の自然保護の取り組みについて（菅井 自然保護委員長）

#### (1) 自然保護セミナー

- ・ 千葉県連の自然保護運動のまとめと学習として実施する。

- ・ 実施日：2015年11月14日 ・会場：千葉文化センター（千葉市中央区）

- ・ 収容人数：150名

- ・ 講師：鵜沢 喜久雄氏（ふわくHC）

3月11日に、中原さん・菅井自然保護委員長・広木実行委員長で、鵜沢さんと打ち合わせをしました。実行委員会の確認事項に基づいて進める事を確認。

### 3、吉尾 弘氏、慰霊山行の実施。

- ・ 7月23日（木）ハイキング委員会のウィークデイ山行として、船橋勤労者山の会の協力を得て、慰霊登山を実施する。

詳細は、次回実行委員会で決定し参加者を募集する。

## 船橋勤労者山の会 紹介

会長 仲里義孝

会は1977年4月に「船橋勤労者山岳会・野歩の会」として創立され、1981年3月に現在の会名に改称し、今日に至っています。設立当時は船橋の市職員と教職員が中心で、多くは女性・ハイキング層が主でしたが次第に、縦走、岩登りなどを志向する男性会員の増加により、ハイキング層の女性が激減。その後は岩登り・縦走・ハイキングの3本柱を中心に据え、会員数も増えていき、徐々に目指す総合山岳会の形が出来上がっていききました。82年には全国連盟でも活躍していた吉尾弘氏に顧問をお願いし、登攀技術の向上に貢献していただきましたが、残念ながら2000年3月に吉尾氏は谷川岳滝沢リッジにて滑落事故で亡くなり、その事故当事者の一人である中台寿氏も07年6月に三つ峠での会岩登り講習会での滑落事故で亡くなりました。その事故を契機に会では山行事故を起こさないために基本技術の講習会、訓練山行に重点をおき取り組んできました。しかし近年、山行事故が年に数件発生しており、改めて事故の防止が急課題となっています。

### 会の特徴、アピールポイント

- ・会員数：77年12名、87年52名、97年83名、07年53名、11年75名）近年は入会者が年10名を超え、退会者も10名近くいるが、年々増加傾向にある。
- ・会員構成：（15年）男性54名、女性28名、計82名、平均年齢45歳  
ハイキング山行の企画内容充実化に伴い、女性の新入会員が増え、活発に活動した。
- ・会の目標：一人ひとりが楽しく、安く、安全に想った山に登ることができるような総合的山岳会を目指しており、そのために相当数の会員が冬山縦走ができる総合力を持てること。
- ・岩、沢、冬山、縦走、ハイキングなど会員の志向に合わせた山行が行われている。
- ・リーダー部を中心に計画する各季合宿、訓練山行、技術講習会、机上講習会の推進。
- ・集中山行、新人歓迎山行を企画し、志向の異なる会員および新旧会員間の交流を図る。

### 最近の主な会山行

- ・14年10月18, 19日 新人歓迎山行（日光白根山、男体山・30人）
- ・14年12月13, 14日 富士山雪上訓練（富士山5合目・18人）
- ・14年12月末 冬合宿（南ア白根三山・5人、八ヶ岳硫黄岳・7人）
- ・15年1月25日 新春ハイク（房総烏場山・19人）



14年10月19日 湯元キャンプ場にて

## 2015 初級登山講習の案内

県連教育遭難対策委員会

近年の県連発生事故では、高齢者の転倒が増加している現状を踏まえ、また各会で初心・初級登山者が増加している事を勘案して、事故防止を図るべく、昨年に引き続き、実技講習を、主に初心・初級者を対象として行います。

各会よりの積極的な参加を望みます。

### 記

- 1) 日程：6 / 6 (土) - 6 / 7 (日)
- 2) 山城：富士山麓・朝霧高原 / 毛無山近辺
- 3) 集合：朝霧高原 / 毛無山有料駐車場 8 : 30 集合 9 : 00 開始
- 4) 実技：6 / 6 (土) 9 : 00 - 6 / 7 (日) 12 : 00
  - ①読図
  - ②ロープワーク基礎 (岩場の通過)
  - ③セルフレスキュー (搬送法)
  - ④ファーストエイド (救急法)
  - ⑤ツェルトビバーク
  - ⑥筋トレ実技 <外部講師 荒井トレーナー>
- 5) 宿泊：本栖湖キャンプ場 大型ロッジ<26 畳 予定>  
所在地：添付参照。 [http://www.motosuko-camp.com/2\\_info.htm](http://www.motosuko-camp.com/2_info.htm)
- 6) 交通：各会毎 車等で
- 7) 実施規模：40 名程度
- 8) 個人装備：雨具 ストック 行動食 シュラフ ヘッドランプ 県連7点セット  
<スリング長1 短2 補助ロープ10m カラビナ2 環付カラビナ1 >  
シルバコンパス 入浴セット テーピングテープ 三角巾
- 9) 共同装備：各会毎 ツェルト 補助ロープ<8\*30m>
- 10) 参加費：2,500 円 / 人 <予定>
- 11) 食事(夕食・朝食)：各会毎に。
- 12) 申し込み先 / 期日：各会理事より 5 / 24 までに 遭対委員会 大越へ  
<[ogoshi-1947@koalanet.ne.jp](mailto:ogoshi-1947@koalanet.ne.jp) 047-345-3622> 申込書は別途配布。
- 13) 各会責任者打ち合わせ：5 / 29 (金) 19:30~県連事務所にて
- 14) 雨天決行：ロッジ内での机上講習を主体に行う。
- 15) その他問合せ先：遭対委員会 岡田 [ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp) 043-271-4704

## 2015年度 第1回ハイキング委員会

2015年03月16日(月)

出席者 桑原、佐川、八巻、大田、小山、花井、高見、吉澤、中原 9名

### 議題

#### 1) 第31回 房総ロングハイキング 反省

全体的には事故なく良かった。倒木があり苦戦はしたが新ルートも良かった。

今度もっと近くに降りる下山新ルートを発見しました。次回が楽しみ(中原 談)

#### 2) ウィークデー山行

50周年記念行事の一環として、吉尾さんの慰霊碑(レリーフ)慰霊山行実施。

日時 2015年7月23日(木) バス利用

行先 谷川・ゼニイレ沢～一の倉沢

行程 千葉6:30・松戸6:40 出発=土合白毛門駐車場10:00着

10:30 出発—1h— 湯檜曾川・一ノ倉沢出会 11:30 ゼニイレ沢レリーフ往復

12:30—20— 一ノ倉沢 12:50(散策) 13:30—1h— 駐車場 14:30着

15:00 乗車 帰葉 19:00 着予定

歩行 約3時間00分(但し渡渉箇所あるので遅延あり)

(下見の結果行程は多少の変更あります)

吉尾氏の県連に対しての貢献度など良く知りたいのでしかるべき人に説明を請う。

※4月からバス料金、その他厳しくなるので良く検討する事。

#### 3) ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル(山への想い) 雑感

4月高橋、5月加藤、6月桑原 7月小山、8月八巻、9月大田、10月天野、11月吉澤、  
12月高見、1月佐川、2月中原、3月花井

※ 前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。

その他

県連50周年記念行事。

1) 海外山行 バリ島サンライズ・トレッキング 2015年10月中旬予定

2) 千葉の山 トップ50座 山行

3) 自然保護セミナー 千葉文化センター(講師 う沢氏 他) 11月14日(土)

4) 記念イベント 清和県民の森 2016年10月 予定

5) 記念誌発行 (50年のあゆみその他) 記念イベントまでには発行

以上のように行事が有りますので参加及びお手伝いをお願いします。

※NPO法人「ちば労山ゆう」

4月以降も支援活動行いますので参加して下さい。

総会 2015年4月21日(火) 西部公民館 出席をお願いします。

次回委員会 2015年05月26日(火) 18:00～ 県連事務所

## 女子隊 奥秩父に行く

岳人あびこ 高橋芳恵

「登った山でどこが一番？」と問われれば「どの山もみんな好きよ」の中でも私は奥秩父の山は特に好き。瑞牆、金峰、甲武信、どこも素晴らしい。

今回は6名の女子隊で秩父から雁坂峠プラス和名倉山の4日間を計画した。ちょうどシャクナゲの花の盛りでロングコースを毎日、毎日8～10時間を歩き続けた。初日はかなりの雨模様で秩父のタクシーの運転手が痛く心配してくれたが、途中から小雨となり緑の回廊は一層瑞々しかった。雲取山荘は貸切りで温かいこたつでゆったり過ごした。2日目の雲取山からは絶好の日和に恵まれ、富士山を眺めながら、イワカガミの群落に歓声を上げ、飛龍山のシャクナゲに感激した。将監小屋まではウンザリするほど同じような道をひたすら歩いた。将監小屋連泊し無愛想な管理人とすっかりなじみながら、3日目は何もない和名倉山の奥深さを味わった。八百平の広さと展望のない山頂の静謐さが何とも奥深く、こちらのシャクナゲは盛りを過ぎてはいたが、是非再訪したい山となった。

笠取山からはカラマツに林相が変わり、明るい優美なやまなみとなり、快適な歩きを楽しんだ。大河の一滴の水干や分水嶺にはいつも感動する。雁峠からは丁寧に古札山、水晶山を越えて展望の雁坂峠に到着した。

女子隊はいつも明るく賑やかで笑いが絶えない、女子高生のように（自分たちだけはそのつもり）地図読み、山座同定も怠りなく、学習意欲も旺盛である。山の会から女子隊が消えたら、とても存続できるものではなく、まさに自立した女子隊あつての山の会であることを実感した四日間でした。

奥秩父縦走（秩父～雲取山～雁坂峠）

平成26年6月12日（木）～6月15日（日）

① 1日目 我孫子 5:30→池袋・西武秩父(タクシー)三峰 P 9:35⇒霧藻ヶ峰 11:20/11:55 ⇒ お清平 12:05⇒前白岩山 13:35⇒白岩小屋 13:40/50 白岩山 14:15/25⇒雲取山荘 16:00 (泊)

行動時間 8時間

② 2日目 雲取山荘 5:35⇒ 雲取山 6:05/20⇒飛龍権現 10:40/45 飛龍山 11:10/15⇒将監小屋 15:10 (泊)

行動時間 9時間35分

③ 3日目 将監小屋 5:30⇒ 八百平 8:40/50 和名倉山 10:10/20⇒八百平 11:10/45 ⇒ 将監小屋 14:30 (泊)

行動時間 9時間

④ 4日目 将監小屋 5:15⇒唐松尾山 6:55/7:10 ⇒分水嶺 9:05/15⇒雁峠 10:05/10 ⇒ 古札山 11:10/30 ⇒水晶山 12:00/05⇒ 雁坂峠 12:35/50⇒雁坂トンネル入り口 15:15⇒塩山 17:53→我孫子 20:55

行動時間 10時間



「岳人あびこ」女子隊 ご一同様

ハイキング委員会リレーエッセー

## 平日会山行 稲含山(群馬百名山)1370m

山の会らんとん 天野・佐藤

山行日：2015年1月20日(火) 快晴

参加者：由田様(群馬労山甘楽山の会)・天野・佐藤 3名

コース：北柏駅 7:00—柏駅 7:06—上野駅 7:54—新幹線—高崎駅 8:50—  
上州電鉄—上州新屋 9:18—雄川堰—武家屋敷—小田宗家の墓  
稲含山登山口 P10:40～稲含神社(秋畑社殿)～稲含神社(下仁田社殿)  
～12:30 稲含山頂上・下山 13:00～鳥居峠(茂垣峠)～稲含山登山  
口 14:00—楽山園—甘楽道の駅  
高崎駅 16:22—新幹線—上野駅 17:23—柏駅 18:02

ファミリーに最適。360度の大パノラマ！”とパンフレッドに！

1月の陽だまりハイク計画者としてはここぞと、計画するも、暦の上では大寒、西上州の屋根(1370m)は無理ではと思いつつも、例会に計画書を提出したところ都合つく参加者は平日でもあり2名のみ。

いろいろ計画を練り直すも諦めきれず、甘楽役場に雪の状況その他問い合わせたところ、群馬労山・甘楽山の会の稲含山のエキスパートの由田さんを紹介され千葉労山の者ですが、と言ったところ、一つ返事で同行しましょう！と。

2月4日、天にも登る思いで、電車で北柏より上州電鉄新屋駅に向かい由田さんと合流。配車して頂いた車で出発、稲含山登山口に向かう。

途中由田さんのガイド付きで桜並木の雄川堰・武家屋敷・小田宗家の墓等『日本の里100選』にも選ばれている甘楽町の風景を心に刻み、車窓からの暖かい陽ざしいっぱいのドライブを楽しみました。

那須大橋を過ぎ道幅の狭い急な林道に入ると雪がつき始め、日当たりは雪が溶けたり凍ったりとアイスバンになり、日蔭はだいぶ雪が残り、相当の運転技術が必要のようです。

すれ違う車も追い越す車もなく登山口に、真っ白に雪で覆われ駐車場は分かりませんでした。何度もバックでハンドルを切り返し、雪を固め駐車スペースを確保し無事到着。

10:40 登山口を出発、アイゼン着けずに静かな雪景色を楽しみながらゆっくり登る。階段が続くが雪に覆われかえって歩きやすい。霜柱や長く伸びたツララに目を奪われ、足もとがおろそかになり躓きそうになるが、ストックワーク等

の注意を受けながら慎重に神の水を通過。安全と膝に負担をかけないようにと天野さんと私は軽アイゼン着装。沢筋は氷爆のようになっていてアイゼンに助けられる。又危険な個所には柵やクサリが懸かり安全に配慮されていたので、一年ぶりの雪山を無事歩くことが出来ました。

11:45 稲含神社（秋畑社殿）—稲含神社（下仁田社殿）—12:30 稲含山頂上  
頂上には我々3人、360度の大パノラマに歓声をあげる。山頂は風もなく暖かく荒船山・浅間山が大きく、妙義山もはっきりと見えました。右奥に雪の谷川連峰、左に目を移すと雪をかぶった八ヶ岳、さらにカメラではハッキリ写りませんでした。肉眼で富士山を確認。由田さんに山座同定していただき、ゆっくり頂上を楽しむ事が出来ました。

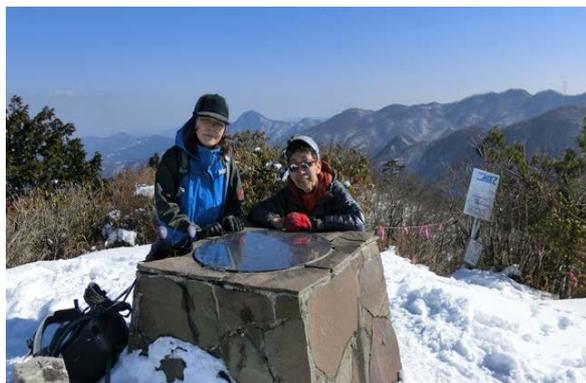
風の当たらない下仁田社殿（気温-1℃）の中で昼食、暖かい即席汁に天野さん手作りのお稲荷さんが殊のほか美味しく、至福の時間が過ぎました。

13:00 下山—鳥居峠（茂垣峠）—稲含山登山口 14:00  
予定通りの下山時間だったので国指定名勝『楽山園』に寄って頂き、暖かい甘酒を振舞ってもらい、ほかほかの気分になりました。

こんにやくパークは観光バスの団体でいっぱいだったので『甘楽道の駅』に直行、甘楽町で生産された新鮮な農産物が豊富で安く主婦にはうれしく買って帰りました。糖尿病に良いという初めてのキクイモも料理に重宝し美味しく頂きました。こんにやくもお土産に！桜咲く5月の稲含神社春季例大祭には車で又訪れたいと思います。宜しく願いいたします

16:22 高崎発（高崎まで送ってもらう）—新幹線—上野発 17:24—北柏  
今回は雪の稲含山登山になり思いがけず良い一日を過ごすことが出来、甘楽役場の方々そして由田さんのお陰と感謝しています。有難うございました。

甘楽町は自然と歴史の宝庫、それ以上に町の方々のほっこり暖かい思いが甘楽の町を支えているように感じました。



稲含山頂 青空の下  
遠目に見える  
山と美女  
2人

# 足尾に緑を、植樹祭に参加しましょう！

千葉県連・自然保護委員会

## 足尾の山に100万本の木を植えよう！

# 春の植樹デー

20周年  
記念

2015年  
**4月25日・26日**

厳しかった寒さもやわらぎ、陽のぬくもりが感じられるようになってきました。みなさん、お元気でしょうか。今年は20周年という記念すべき植樹デーとなりました。「10年ひと昔」流にいえば、私たちの活動もまるまる「ふた昔」つづいたわけで、これも多くのおみなさんのご支援ご協力のたまものです。改めて感謝を申し上げます。

20回目となる今年の植樹デーは、昨年実施した戸部沢を予定しています。植樹地が年を追うごとに上部へ移っていますので、体調を万全にして参加されるようお願いいたします。なお、小さいお子さんや足に自信のない方のためには、道路から近い場所を確保してありますので、安心してご参加ください。

さて、今年も強力な“応援団”が駆けつけてくれます。25日(土)には、育てる会の応援歌「備前横山」のシンガーソングライター・せきぐちゆきさんのミニコンサートを開催します。さらに26日(日)には、足尾町出身のサクソフォーン奏者・ジミー中山さんのミニコンサートを予定しています。また、両日にわたり、20周年を記念した足尾ならではの楽しい催しを企画しますので、楽しみにしてください。みなさんの参加をお待ちしています。

### 行動スケジュール

- 日時 2015年4月25日(土)・26日(日) 日暮の山に集合にご参加ください。
- 作業 午前10時～午後1時 ※雨天決行
- 集合 午前9時30分 銅鏡水公園 ※駐車場は足尾ダムの先です。
- 会員としてご協力いただける方は年会費の納入をお願いします。
- 昼食とき、ブタ汁の用意があります。できれば「マイはし、マイおわん」をご持参ください。
- わたらせ渓谷鉄道ご利用の場合は、終点栗原駅(9-13番)からの送迎を行います。
- 会場までの道は狭いので、徒歩通勤にご協力ください。

### 個人でご用意ください

飲料水/軍手/雨具/昼食

### 用意できる人は持参してください

- シャベルなどの用具は育てる会でも用意しますが、数に限りがありますので、用意できる人はご持参ください。
- 持物は必ずリュックに入れて、両手はフリーの状態でご参りしてください。ヘルメットをお持ちの方は着用してください。なお、道路から近い場所もあるので、家族連れの方もぜひご参加ください。
- 苗木を持参される方は、リュックに入る小さなものを用意してください。





せきぐちゆきさん  
ジミー中山さん

**準備作業の手伝い募集!**  
4月18日(土)、19日(日)に準備作業をします。  
0:30に大塚沢緑の体験ゾーン駐車場に集合してください。

**交流会**  
日時 4月25日(土) 午後5時より  
場所 足尾町・ラポール(高尾町事務所3F)  
TEL 0288-93-3580  
会費 3,000円  
準備の都合がありますので、参加希望者は事前に事務局までご連絡ください。

**ドングリの星願になってください**  
ドングリから芽が出たばかりの苗木(約20cm)をご家庭に持ち帰って育ててくれる星願を募集しています。ご家庭である程度育て、再び足尾の山に植えてください。両日とも無料配布します。



ここが駐車場です!  
ここが集合場所です!  
ここが今年の植樹地です!

●主催 特定非営利活動法人(NPO法人) 足尾に緑を育てる会 会長 鈴木 敏

4月25日(土)は、足尾の山・沢を楽しみ、夜は現地でキャンプ・懇親会  
翌26日(日)は、植樹祭に参加、足尾の自然保護に参加しよう!!!  
問い合わせ・申し込みは：千葉県連盟・ホーム・ページ・事務局への問い合わせまで  
お急ぎの方は：千葉県連 広木まで Eメール [danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

## ゆう便り NO11

厳冬期に休止していた支援活動を再開しました。

未明の道端に出て、我々を迎えてくれる鹿たちとの再開も久しぶりのような気がします。きょとんとして、我々の車に視線を向ける鹿たちのくったくの顔はとても可愛いのですが、後で述べるように、実は我々の努力を灰塵にしてしまったのです。

では、早速そのあたりを・・・

- 1、日時 2015.3.14 (土) ~15 (日) 晴れ
- 2、参加 15名
- 3、活動場所 石巻牡鹿半島谷川浜・小淵浜・石巻市内門脇地区
- 4、宿泊場所 現地漁師さんのプレハブ小屋
- 5、活動内容
  - ・ホヤの牡蠣殻の吊紐通し作業
  - ・ワカメのメカブ切り、本葉の成形作業
  - ・草花の移植作業

常磐高速道が全線開通して、海岸に沿ってほぼ一直線に北上し、仙台道・三陸道を経て石巻に至るルートが繋がり往復の道程が短くなり、東北道の混雑も回避できます。

津波によって荒れた茫漠たる裸地に潤いと、千葉から運び洞福寺の境内に植え込んだ水仙が順調に育ち開花を楽しみにしていたところ、何と、根株を残して鹿たちに食べられてしまったのです。

ご住職によって金網籠で保護された部分のみが白い花をつけています。

(“水仙は食べないはず”との、見込みが外れました)

さて、支援作業の内容はすでにみなさんもお存じのとおり、ホヤの紐通しやワカメのメカブ切り等なのですが、私が向かった作業所に他のボランティアの方が参加しました。

この方は大阪と東京から来られたのですが、交通費等会社の負担によって大勢の社員がこの小淵浜に散開していたのです。

震災後4年を経て支援の手も薄くなっている今、社費で大勢の支援者を派遣するところがあるとは驚きでしたし、感動ですね。大阪の男性OBと、東京の若い女性社員の組合せでしたが、仲良しで社内の良い雰囲気も感じられ、こちらでも嬉しくなりました。

ところで、宅地の高台移転など復興絵図は出来ているものの、仮設住宅は依然として残り市街整備が遅々として進行しないなかで、ここ小淵浜は、港湾道路や係留岸壁復旧など漁港整備が進んでおり、この半島でも復興の爬行性が目を引くようになってきましたね。

NPO法人「ちば労山ゆう」メール担当  
長池 康雄(ちば山の会)

### NPO法人「ちば労山ゆう」よりのお知らせ

#### 1、総会の案内

- ・ 日時：4月21日(火) 19時
- ・ 場所：船橋市西部公民館

#### 2、4月の支援活動

- ・ 日程：18日(土)~19日(日)  
夜行発1泊2日
- ・ 場所：牡鹿半島谷川浜
- ・ 作業内容：漁業支援と花の植栽
- ・ 宿泊場所：漁師さんの小屋(無料)
- ・ 参加費：交通費(3000円)+食費(2食分で500円)

申し込み先 理事長 吉田 哲治

([tetsu195715@aol.com](mailto:tetsu195715@aol.com) 090-1406-5008)



東京・大阪・千葉の参加者



門脇地区・草花の移植作業

## 石巻支援に想う

君津ケルン山の会 神田 武治

2015年3月14日~15日

光の輪がゆっくり回転するスカイツリーを左に見て、今月1日に全面開通した常磐自動車道へ向かう。想えば4年前、震災から1ヶ月目気仙沼から石巻へ向かい、アーケード街でガレキやへどろと格闘した。2回目はビニールハウスで汗まみれ、泥まみれで奮闘した。

一回目の時は夕方、テントの入口をめくって船橋の人たちが冷たい缶ビールを差し入れてくれた。2回目はビニールハウスの人が、お茶の時刻に一輪車でペットボトルの麦茶やジュースを持ってきてくれた。いずれの時もとてもおいしかった。殊に缶ビールの時は周囲に灯りも、お店も無い時だったので格別だった。うまかったものの記憶は鮮明である。

13日の支援作業は、以前と同じ渥美さんのところでホヤの準備で牡蠣殻への紐通し。

宿泊はずっと海岸寄りでこちらも同名の渥美さんの小屋。(こちらの小屋は初めてだった。)

夕べになるとさすがに漁師小屋、アワビや牡蠣、ホタテ、カニ等々いっぱい差し入れしてくれた。おかげで焼く準備やら、焼く、食べると忙しくうれしい悲鳴を上げるほどだった。

その席に以前谷川浜に来る前まで大変お世話になった石巻労山の岡さんが見えだった。

「NPO 法人 アニマル石巻」について 2013年5月千葉労山で、戸隠の瑠璃山へ登る

「コンサート&ハイキング」を行った。その時音楽ロッジ「アコールド」の玄関に、自由にお持ちください。と書かれて、「五井美沙作品集」があった。五井さんはアニマルクラブを手伝いながら、好きな犬や猫の表情を優しく紙面に写し取っていた。しかし彼女はお祖母ちゃんとお母さんを助けに行き、津波で家ごと流され、後日亡骸が浜辺に打ち寄せられた。

そしてアニマル石巻の代表である、阿部智子さんの便りによると震災で傷ついたり、置き去りにされたりした犬や猫の世話は90匹を収容するようになった。また活動が長くなると高齢の犬と猫が多くなり、ここ2年余りは介護と看取りの繰り返しでした。

そして阿部さんは最後に「こんなふうの手さぐりで光を探し、津波の中を歩いて家路をたどった時のように、足探りして前に進む日々で、将来のことなど何も約束できませんが・・・

・その日その時できることをやっています。」と綴っている。また被災地にボランティアに来てくださった方々や、カンパを送ってくださった方々の優しさを追い風にして。と

谷川浜での一夕、酒を酌み交わした岡さんにこの、アニマル石巻の話をするとうまくご存じであった。

漁師小屋の方々はみなさん優しく帰りに、ワカメをお土産にいただいた。それでも、岡さんもそうであるが、心からの明るい笑顔には見えない。いつ解決するともしれない現実と多くの人や物を一度に失った喪失感が、心の底におりのように溜まっているのだろうか。

とても頑張っただけとはいえない。ただ黙って支援の手を差し伸べるだけである。

喜んでくれる人たちがいる限り。

支援の記念にと植えたスイセンはお寺の方は、残念ながら鹿に食われて根元から10cm位しか残っていなかったが、お宮の方は小さな白い花びらが風に揺れていた。お寺のスイセンも葉っぱは少し食べられたが、根っこさえしっかりしていれば大丈夫、きっといつの日にかきれいな花が咲く時がくると信じている。

## 早春の石巻へ漁業と植栽の支援に行きました（6回目のボランティア）

野口 義夫

（民医連東京共済山の会 ふわくHC）

3月13日（金）夜の出発で、14～15日（土・日）と石巻市へ6回目のボランティアに行ってきました。春の時期に恒例のホヤ養殖準備と花の植替えの支援です。参加者同士の気持ちや行動力が分かり合えるようになってきて、活動が一段と楽しく、働き甲斐を感じました。仲間の皆さんに感謝します。

### 常磐道で見た放射線量の恐怖

13日夜20:40、JR松戸駅の市民劇場横で吉田カーに同乗。リーダー集団の吉田さん、佐藤さん、角掛さんはじめ8人の仲間と一緒にです。昨秋11月以来の人、久しぶりの人とあいさつや近況交流、元気な再開に笑顔と笑い声も。

今回は、往復とも、3月に開通した常磐道を走りました。いわきと相馬間は一車線で、通行車が多ければ渋滞も予想されます。ならば、広野、富岡、大熊、浪江、相馬間の数か所で車道脇に放射線量がリアル・タイムで電光表示され、その高い数値にあらためて事態の深刻さを知りました。広野0.2  $\mu\text{Sv/h}$ 、ならば0.7、富岡2.3、大熊3.0、浪江5.4、相馬0.2です。広野の0.2は安全とされる基準（0.023）の10倍、富岡は100倍、浪江は234倍に当たります。恐怖を覚えました。

さらに、景色の異様さです。一車線区間で窓外に見えるのは、人も車も見えない道、枯草で覆われた農地や農道、黒い除染土袋の大量の積み置きが、どこまでもいつまでも続きます。パーキングの入口には「帰還困難区域」の立て看板が。海よりには福島原発の四角い建屋と白い高い煙突がスマートな姿で立って、不釣り合いな景色を作っています。

宮城県・石巻市では津波後の整地が済んで、今は盛土による嵩上げ工事がかなりのスピードで進んでいます。現地へ行くたびに景色が変わっています。これと比べて福島は、とくに原発周辺では収束も復興も見られず、今も被害が続いている、としか見えないのです。事態は想像以上に深刻、苛烈だ、と痛感しました。何とかしなければ。

以下、割愛

3月の支援活動では、この3月に全線開通したばかりの常磐道を、往復通ってきました。行きは真夜中でしたのでよく分からなかったのですが、帰りの明るいなか通ってみると、そこには異様な光景がひろがっていました。

どのような光景なのか、支援活動が縁でふわくHCに入会された〔東京民医連の野口さん〕が所属会の会報に掲載した文書をページ数の都合上一部抜粋して報告とします。

（理事長 吉田 哲治）

# 県連たより

## 千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX： 043-306-1190  
Eメール：[rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分  
(県連事務所に常駐者はいません)
  
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>  
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ  
事務局への問い合わせまでお願いします。
- ◎ 加盟会会員の事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax：043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず  
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
機関紙委員会・広木 国昭  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号：ゆうちょ銀行  
00240-8-98419  
加入者名：NPO法人 ちば労山ゆう  
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、  
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」とは、東日本大震災を支援するために、千葉県勤労者山岳連盟を母体として活動を始めた、被災者支援NPO法人です。
- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は千葉県連盟ホームページから常時入会出来ます。
    - ・入会申し込みは  
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
    - ・「ちば労山ゆう」への問合せは  
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
  
  - ◎ 支援活動について
    - ・4月18・19日です。
    - ・5月は、総会后お知らせします。
  - ◎ 支援物資販売活動について  
皆様のご協力により、交通費の補助に役立っています。  
引き続きご協力をお願いします。  
三陸・気仙沼直送の支援物資は「おさしみわかめ」「さしみこんぶ」「くきわかめ」「すき昆布」「とろろこんぶ」  
牡鹿半島の「塩蔵わかめ」  
常時在庫あります。  
**支援物資に関する問い合わせは  
下記アドレスに連絡を！**  
宅配も、相談下さい。  
広木 国昭  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

## 県 連 活 動 予 定 表

4月		行事予定	5月		行事予定
1	水		1	金	
2	木		2	土	
3	金		3	日	
4	土	県連雪上訓練(谷川)	4	月	
5	日		5	火	
6	月	女性委員会	6	水	
7	火	県連役員会	7	木	
8	水		8	金	
9	木	50周年実行委員会	9	土	
10	金		10	日	
11	土		11	月	
12	日		12	火	県連役員会
13	月		13	水	
14	火		14	木	
15	水		15	金	
16	木	県連理事会	16	土	
17	金		17	日	
18	土	NPO 支援活動	18	月	
19	日	//	19	火	
20	月		20	水	
21	火	NPO・総会船橋市西部公民館	21	木	県連理事会
22	水		22	金	
23	木	組織委員会	23	土	
24	金		24	日	
25	土		25	月	
26	日		26	火	ハイキング委員会・NPO役員会
27	月	教遭委員会	27	水	
28	火		28	木	50周年実行委員会
29	水		29	金	
30	木		30	土	
			31	日	クリーンハイク

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190 (事務所に常駐者はいません)

発行責任者 : 吉田 哲治 編集責任者 : 広木 国昭

問い合わせ先 : 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ